令和５年10月31日

保護者の皆様へ

渋谷区教育委員会

HACHIアプリ（NEXTシート）の本格導入について

日頃より本区の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

渋谷区では、子供たち一人一人の幸せ（Well-Being）の実現を目指し、自律した学習者として、自ら目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付けられるよう、さまざまな取組を進めています。

この度、本年７月より区立小学校・中学校へ試行的に導入した「HACHIアプリ（NEXTシート）」について、順次利用を開始します。日々の学習の振り返りや日記をデジタル化した「HACHIアプリ（NEXTシート）」の活用を通して、子供たちが、自らの学習を振り返って次の学習に意欲的に向かうことや、友達の良さや頑張りを認め合い自己肯定感・自己有用感を高めることをねらいとして、導入するものです。また、教員は子供たちの振り返りや日記への返信を通して、学びの変容や成長の自覚、次の学習への見通しや課題解決の方向性を確認して支援したり、子供とOne on Oneで向き合う時間を充実させたりすることができます。

今後、各学校・クラスの状況に応じて、段階的に授業や朝の会等での活用を進めて参りますので、保護者の皆様におかれましては「HACHIアプリ（NEXTシート）」の活用について、御理解いただきますようお願い申し上げます。

〔担当〕
・HACHIアプリ（NEXTシート）について
教育委員会事務局教育政策課
電　話　03-3463-2983
・タブレットを活用した指導・支援について
教育委員会事務局教育指導課
電　話　03-3463-3024

令和５年10月 渋谷区教育委員会

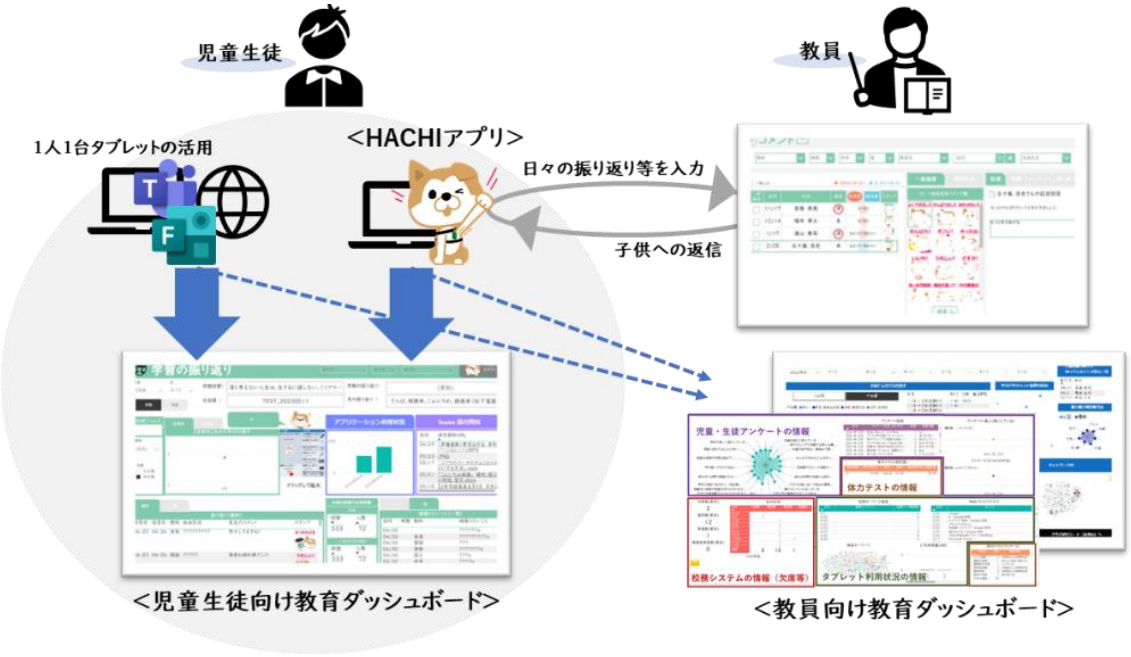
HACHI アプリ、児童・生徒向けダッシュボード活用について

? HACHI アプリ、児童生徒向けダッシュボード（NEXT シート）とは何ですか？

A 子供たちがアプリを使って学習面や生活面の振り返りを行い、自らの取組や頑張りを子供たち自身がダッシュボードから確認することができる仕組みです。

主な機能は①子供たち自身が自らの学習・生活の振り返りを入力し、教員がコメントを返信する「HACHI アプリ」と、②教員から返信されるコメント・スタンプの閲覧や、自らの振り返りの変容等をグラフ化して確認できる「児童・生徒向けダッシュボード（NEXT シート）」に分かれています。

HACHI アプリ・児童・生徒向けダッシュボードの実際の画面については、別紙を御参照ください。



? どうして HACHI アプリ、児童・生徒向けダッシュボード（NEXT シート）を使うのですか？

A これまでプリントやノート、インターネットフォーム等を活用し、教科ごとに異なる方法で行っていた振り返りを、機能を一元化したアプリから行います。これにより、子供たちは、いつでも、同じ方法で、簡単に振り返りをすることができるようになります。また、自らの頑張りや成長の様子を、ダッシュボードから一目で把握することができます。

子供たちはどのように活用するのですか？

タブレット端末でブラウザを立ち上げた際に最初に表示される画面（L-gate）からアクセスし、日々の学習と生活の振り返りに活用します。

例えば「学習の振り返り」において、学習の「めあての達成度」や「さらに頑張りたいこと」等の振り返りを HACHI アプリに入力します。入力後は、振り返りに対する教員の返信コメントや、自分の振り返り内容を児童・生徒向けダッシュボード（NEXT シート）から確認できます。子供たちが自らの学習の状況を把握することにより、次の学習を自ら調整して進めていく力を育みます。

「生活の振り返り」では、HACHI アプリから日記や友達の良かったところを入力できます。日記に対して教員が入力した返信コメントは、児童・生徒向けダッシュボード（NEXT シート）からいつでも確認できます。友達の良さや頑張りを認め合うことで、自分の気付かなかった良さや可能性を認識することを目指します。

なお、児童・生徒同士のコミュニケーション機能は搭載していないため、アプリを利用して児童・生徒同士がコミュニケーションを取ることはできません。

教員はどのように活用するのですか？

教員は、子供たちが入力した振り返りや日記、スタンプを確認し、子供たちの「何を頑張っているか」、「どのくらい進んでいるか」、「どこまで理解できているか」といった学習状況を知り、また、「どんな気持ちで過ごしているか」、「困っていることはないか」等、児童・生徒理解を深める手立てとします。そして、振り返りや日記に適宜コメントやスタンプで返信をしたり、直接声をかけたりすることを通して、子供たちを励ましたりその相談に乗ったりします。同時に、友達同士の「いいところ」見つけの入力を促すことにより、子供同士で認め合う温かい雰囲気の学級づくりを目指します。

また、子供たちの振り返りは、教員が自らの授業や学級経営について見直す機会となります。学級や学年全体のデータを分析し、どうしたら子供たちがよりよく学べるか考え、次の授業、学級指導に生かすことができます。

その他、子供たちと One on One で向き合う時間を充実させ、今まで以上にきめ細やかな支援や励ましを実現するために、教員は HACHI アプリ、児童・生徒向けダッシュボードを活用していきます。

HACHI アプリ、児童・生徒向け教育ダッシュボードで集約されている情報はどのようなものですか？

例として次の情報があります。原則、子供たちが自ら入力した情報が中心になります。情報は適宜、見直しを図ります。

なお、HACHI アプリの入力内容は、教員向け教育ダッシュボードにも一部反映いたします。

<HACHI アプリで入力>

- 学習・生活の目標・振り返り
- 単元・授業ごとの振り返り
- 子供同士のいいところみつけ（相手の児童・生徒には直接届きません）
- 日記
- 今の気持ちを表すスタンプ
- 体温
- 教員から子供へのコメント

<その他>

- 出欠状況
- 学校生活アンケート（小学校 4 年生から実施）
- Microsoft Teams 添付資料・リアクションログ（教員向けのみに表示）

HACHI アプリ・ダッシュボードは誰がどの範囲の情報を見られるのですか？

子供たち一人一人が学校に安心して楽しく通える環境づくりに、**学校関係者が一丸となり取り組むことができるよう、校長・副校長、担任等の教員と教育委員会の担当者を閲覧対象**にしています。上記以外の第三者に情報を提供することはありません。

また、子供たちの詳細情報は、あくまで、当該校のみに閲覧権限が制限されています。

なお、HACHI アプリやダッシュボードを取り扱う教職員には、個人情報等のデータを取り扱っている責任や、子供たちの人権やプライバシーへの高い規範意識が求められます。このため、全学校で適正な利用を行うための研修を実施し、個人情報の漏えいや、子供たちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう指導徹底しています。